

令和7年度

磐越自動車道

長谷川橋工事発注用図面作成

特記仕様書

令和8年1月

東日本高速道路株式会社

東北支社 会津若松管理事務所

第1章 総則

1-1	調査等概要	1
1-2	適用する共通仕様書	1
1-3	テクリスへの登録	1
1-4	履行期間	2
1-5	資料の貸与	2
1-6	受注者相互の協力	3
1-7	計画工程表	3
1-8	調査等打合簿の作成及び提出について	4
1-9	工事記録情報の作成及び提出について	4
1-10	三者協議会について	4
1-11	ウィークリースタンスの取組み	5

第2章 業務細部に関する事項

2-1	業務の内容	6
2-2	設計条件	6
2-3	構造物設計	6
2-4	工事発注用図面作成	6
2-5	打合せ	7
2-6	交通費・宿泊費	7
2-7	成果品	7

添付資料

- 様式-1 計画工程表
- 様式-2 履行期間通知書
- 様式-3 工事記録情報 完了届

第1章 総則

1-1 調査等概要

1-1-1 調査等名 磐越自動車道 長谷川橋工事発注用図面作成

1-1-2 路線名 東北横断自動車道 いわき新潟線

1-1-3 履行箇所 自) 福島県耶麻郡西会津町尾野本 (STA. 707+00)
至) 福島県耶麻郡西会津町野沢 (STA. 713+00)

1-1-4 主な履行内容

構造物設計

基本設計完了後の詳細設計

橋台設計 (逆T式橋台) 2基

基礎工設計 1基

工事発注用図面作成

図面修正 36枚

設計計算 2枚

数量計算 9枚

1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)は、令和7年7月版とする。

1-3 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書1-1-2-4「テクリスへ登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が100万円以上の調査等について、業務実績情報システム(以下「テクリス」という。)に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日(以下「休日等」という。)及び共通仕様書1-3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

(1) 受注時は、受注者が設定した業務の始期から15日以内

(2) 登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から15日以内

(3) 完了時は、完了届提出日の翌日から15日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。

なお、変更時と完了時の間が15日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

1-4 履行期間

本業務は、共通仕様書1-13「着手日等」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から10日以内に、履行期間通知書（様式-2）により、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から60日間（まで）

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から300日間（まで）

※全体履行期間は余裕期間を含む日数

1-5 資料の貸与

共通仕様書1-15-1及び5-2-3「資料の貸与」に基づく貸与資料は、下表のとおりとする。なお、履行期間中業務においては貸与予定日であり、変更がある場合は別途監督員より通知する。

貸与資料	調査等業務名	貸与予定日	備考
測量成果品	磐越自動車道 会津坂下～西会津間詳細測量	契約締結の日の翌日より7日以内	電子成果品
	磐越自動車道 西会津地区詳細測量		
設計成果品	磐越自動車道 長谷川橋他1橋基本詳細設計		
	磐越自動車道 西会津地区道路詳細設計		

土質地質調査報告書	磐越自動車道 会津坂下～西会津間構造物基礎調査		
-----------	-------------------------	--	--

※上記の日数は土曜、日曜、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日、12月29日から翌年1月3日まで、夏期休暇（3日）を除く

1-6 受注者相互の協力

共通仕様書1-20「受注者相互の協力」に示す「隣接または関連の調査等の受注者」は下表のとおりとする。なお、下表は現時点のものであり、変更が生じた場合は監督員より通知する。

調査等業務名	履行期間	受注者	発注機関	備考
磐越自動車道 西会津地区工事 発注用図面作成	未定	未定	東日本高速道路(株)	隣接施行

1-7 計画工程表

1-7-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書1-14-1「作業計画書の提出」（2）に示す作業計画書中の計画工程表（本特記仕様書様式—1）の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者との協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書1-5「資料の貸与」に示す資料の貸与時期、共通仕様書1-9-3「照査の実施」に基づく照査の実施時期、及び共通仕様書1-22「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

設計種別	対象構造物	項目	備考
構造物設計		現地踏査	
	長谷川橋 A1, A2	逆T式橋台	橋台設計
	長谷川橋 A2	場所打ちぐい（機械掘削）	基礎工設計
工事発注用図面作成		図面修正A（簡易）	
		図面修正B（簡易）	
		設計計算	
		数量計算	
設計打合せ			

1-7-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書 1-2-2 「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、共通仕様書様式第 1-4 号「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1-1-4-3 「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いを受注者と監督員とで協議の上決定するものとする。

1-8 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1-2-2 「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内（休日等を除く）に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内（休日等を除く）に受注者へ返送するものとする。

1-9 工事記録情報の作成及び提出について

(1) 共通仕様書 1-4-4-1 「工事記録情報」に規定する「工事記録作成要領」は令和 6 年 7 月版とする。

(2) 受注者は工事記録収集システムへデータ入力完了後、「工事記録作成要領」に従って「工事記録情報 完了届」（本特記仕様書様式-3）を調査等完了届提出予定の 2 週間程度前までに監督員に提出するものとする。その後入力データの照査を受け、監督員が発行する「工事記録情報 チェック結果票」にて照査結果の通知を受けるものとする。照査の結果修正が生じた場合は、監督員の指示に従い速やかに修正を行うものとする。

(3) 工事記録収集システムに関する問合せ先は、東日本高速道路(株)東北支社に常駐する「保全情報管理員」とし、氏名等については別途監督員より通知する。

1-10 三者協議会について

本業務の成果による発注工事（以下「予定工事」という。）において発注者及び受注者並びに予定工事の受注者が協同して、設計の理念及び意図に関わる理解を深め、適切な工事目的物の完成に資するよう技術情報の確認及び交換を行うことを目的として「予定工事の品質確保を推進する設計施工協同連絡会議」（以下「三者協議会」という。）を開催する場合がある。

三者協議会の実施は、本調査等業務の受渡し後に別途発注者及び受注者並びに予定工事の受注者との間で協定を結ぶものとする。受注者の三者協議会の参加に要する費用については、協定書によるものとする。

なお、本条項の記載により受注者の三者協議会への参加を義務付けるものではない。

1-1-1 ウィークリースタンスの取組み

ウィークリースタンスの取組みとは、受発注者間における仕事の進め方として、一週間における受発注者間相互のルールや約束事、スタンスを目標として定め、計画的に業務を履行することにより、業務環境等を改善し、より一層魅力ある仕事、職場の創造に努めることを目的とした取組みであり、本工事において積極的に取組むこととする。

取組み内容は、下記事項を標準として、契約締結後の打合せにおいて監督員と受注者との協議の上実施する取組み事項を定め、工事打合簿を作成し相互に確認するものとする。

あらかじめ定めた取組み事項を実施できない事象が生じた場合の取扱いについては、その都度監督員と受注者と協議の上定めるものとする。

【取組み事項】

- ① 月曜日を依頼の期限日としない（マンデー・ノペリット）
- ② 水曜日は定時の帰宅に心掛ける（ウェンズデー・ホーム）
- ③ 土・日曜に休暇が取れるように金曜日には依頼しない（フライデー・ノリクエスト）
- ④ 昼休みや午後5時以降からの打合せをしない（ランチタイム・オーバーファイブ・ノミーティング）
- ⑤ 定時間際、定時後の依頼、打合せをしない（イブニング・ノリクエスト）
- ⑥ 金曜日でも定時の帰宅に心掛ける

第2章 業務細部に関する事項

2-1 業務の内容

本業務は、別に貸与する設計成果、測量及び調査資料に基づき、西会津地区における橋梁の全幅員変更に伴い、工事発注用図面の作成を行う業務である。業務にあたっては、共通仕様書5-7 構造物設計、5-11 工事発注用図面作成を適用するものとする。

2-2 設計条件

本設計の設計条件は次のとおりとする。

(1) 橋梁	長谷川橋
1) 道路規格	: 第1種 第3級 B
2) 設計速度	: $V = 80 \text{ km/h}$
3) 車線数	: 完成4車線、暫定2車線
4) 上下区分	: 下り線
5) 有効幅員	: 10.5 m
6) 設計荷重	: B活荷重

2-3 構造物設計

2-3-1 詳細設計

(1) 下部工

本設計は次に示すとおりに行うものとする。

橋梁名等	構造物種別	高さ (m)	斜角 (°)	非対 称形	将来の拡幅 考慮	類似構造 物区分	備考
長谷川橋 A1	逆T式橋台	12.3	90	無	無	C	基本設計 完了後の 詳細設計
長谷川橋 A2	逆T式橋台	12.2	90	無	無	C	基本設計 完了後の 詳細設計

(2) 基礎工

本設計は次に示すとおりに行うものとする。

橋梁名等	構造物種別	備考
長谷川橋 A2	場所打ちぐい（機械掘削）	基本設計完了後の詳細設計

2-4 工事発注用図面作成

工事発注用図面作成とは、共通仕様書5-11「工事発注用図面作成」の規定に従って作成するものをいい、図面の区分、成果品項目及び図面の修正率は、下記のとおりとする。

内訳書の 項目	図面の区分	図面の 修正率	図面の内容	枚数	設計 計算	数量 計算
図面修正 A (簡易)	比較的簡易 な図面	10%	数量総括表	1 枚	無	無
			橋梁一般図	1 枚	無	無
			構造一般図	4 枚	無	無
			土留工詳細図	15 枚	無	無
			土留工詳細図	4 枚	無	有
			はく落対策工詳細図	1 枚	無	無
			はく落対策工詳細図	1 枚	無	有
			コンクリート表面被膜工詳細図	2 枚	無	有
			コンクリートブロック積工詳細図	2 枚	無	有
			水路付替工詳細図	1 枚	無	無
図面修正 B (簡易)	比較的簡易 な図面	30%	橋梁一般図	2 枚	無	無
			下部工座標図	2 枚	有	無

2-5 打合せ

打合せ回数は、業務内容確認検査及び完了検査を含め 4 回とする。当初の打合せは現地踏査に行い、打合せの検測数量は 1 式とする。監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱いが監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

打合せ場所は、東日本高速道路㈱東北支社会津若松管理事務所で行うものとする。ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。

また、Web カメラ及び Web 会議システム等を活用して打合せを実施する場合の取扱いは監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

2-6 交通費・宿泊費

技術業務直接人件費に関する、交通費・宿泊費には、設計打合せに必要な交通費・宿泊費を含むものとする。なお、業務に大幅な変更が生じた場合、交通費・宿泊費の増減に伴う費用については、別途監督員と協議するものとする。

また、ウェブ会議システム等を活用して打合せを実施する場合の交通費・宿泊費についての取扱いは監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

2-7 成果品

報告書の表紙は、青色、金文字製本とする。

1 設計業務

項 目	日 程	計画準備		○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			○月			備 考	
		10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30	10	20	30				
1. 設計計画																																
2. 既往資料の確認・整理																																
3. 現地調査																																
4. 設計条件の整理																																
5. 道路詳細設計																																
①縦断設計																																
②平面図作成	・路線図・平面図・線形図・伐開除根求積図																															
③横断面作成																																
④横断面作成																																
⑤土積図作成																																
⑥用排水設計																																
6. 附帯工設計																																
①清渠工設計	・ボックスカルバート、パイプカルバート等																															
②擁壁工設計																																
③詳細図作成																																
④図面修正	・平面図・縦断面図等																															
7. 数量計算																																
8. 概略施工計画																																
9. 施工への送り事項																																
10. 照 査																																
11. 報告書作成																																
12. 監督員による成果品確認																																
13. 電子成果品作成																																
14. 設計打合せ																																
15. 業務検査																																

2 関連業務資料

[illegible]

3 貸与資料

[illegible]

4 關係機關協議

[illegible]

4 その他懸案事項

[illegible]

5 協議内容、結果等

協議内容経緯等	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者	○月○日 ①協議場所、出席者
	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果	②協議結果

※作成上のポイント(記載内容は作成例であるため、共通仕様書及び特記仕様書の記載を確認の上作成すること)

② 関連する調査業務や設計業務ならびに関係機関協議による資料入手や条件提示等の遅れが履行期間を圧迫することがないよう、資料入手・条件提示・対外協議の期限を明確化する。

④ 照査の時期と内容(結果)を工程表に明示することにより、作業の進捗状況に合致した照査作業が実施されているか確認する

⑤ 本工程表は作業計画書に添付するとともに、発注者と受注者双方で共有し、適切な履行期間を確保することで設計ミスの防止、品質の確保を図る。

⑥ なお、本書式は固定のものではない。上記趣旨を理解したうえで、各業務単位で工夫・改良を加えて利用することを目指す。

※作成時の留意事項

① 関係機関協議については該当事項をその都度記入のこと

② 協議待ちによる遅延の場合工程上のクリティカルを明示すること

③ 工程計画に大幅な変更が生じた場合、協議時に発注者に提示し、確認を行うこと。

6 照查内容

照査時期、照査内容、照査結果	<p>照査①</p> <ul style="list-style-type: none"> ・照査時期：基本条件、設計条件検討時 ・照査内容：基本条件の照査 ・照査結果： 	<p>照査②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・照査時期：設計方針、最終形式案決定時 ・照査内容：細部条件の照査 ・照査結果： 	<p>照査③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・照査時期：成果品納入前 ・照査内容：成果品の照査 ・照査結果：
----------------	---	--	--

様式－2

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 東北支社
支社長 殿

住所
会社名
代表者

履行期間通知書

調査等名 磐越自動車道 長谷川橋工事発注用図面作成

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

1. 契約保証取得の日

令和 年 月 日

2－1. 発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

2－2. 発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日)

3－1. 受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

3－2. 受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

3－3. 契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 (日間)

(1. 契約保証取得の日の翌日) (3－2. 受注者が設定した業務の終期)

様式－3

令和 年 月 日

監督員
_____ 殿

受 注
管理技術者
_____ 印

工事記録情報 完了届

下記の調査等名について、工事記録情報の作成が完了致しましたので提出致します。

発 注 者 名	東日本高速道路㈱ 東北支社 会津若松管理事務所		
調 査 等 名	磐越自動車道 長谷川橋工事発注用図面作成		
No.	工 種 名	工事情報(テーブル名)	数 量

※発注時より履行内容に変更が生じる場合は、変更特記仕様書や変更数量表を添付する。